



林東公園ニュースレター

第3号

「林東公園ニュースレター」では、ワークショップで出たご意見・ご要望の内容について、ご報告します。

発行：千歳市建設部都市整備課

平成30年11月15日(木)に千歳公民館において、「~林東公園の将来を考える~ 第3回林東公園ワークショップ」を開催しました。

当日は、これまでのアンケートとワークショップから分かってきた「林東公園の今後の方向性」について事務局から3つの基本方針(案)を示し、その内容について話し合いを行いました。また、基本方針(案)に沿って求められる「機能や整備内容」について最終的なとりまとめに向けグループ討議を行い、多くの意見や要望が挙げられました。

次回最後のワークショップでは、林東公園の今後の方向性について基本方針を決定します。

第3回 ワークショップの様子



※ワークショップとは、地域の皆さんと協力し合って、計画やものづくりを進めていく手法です。

林東公園のスケジュール(予定)

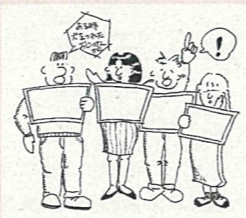
平成30年度

- ・ 林東公園アンケートの実施
- ・ 林東公園のこれからを考えるワークショップの開催(4回)

※基本的な考え方(方針：利活用・施設・樹木など)の設定



事業計画に反映



問い合わせ先

千歳市 建設部 都市整備課 公園整備係 担当 佐藤 中村
 TEL 0123-24-0696(直通)
 株式会社 環境緑地研究所 担当 吉田
 TEL 011-221-4101 FAX 011-221-4237



3つの基本方針(案)



千歳市民及び林東公園周辺住民が思い描く林東公園は、これまでのワークショップやアンケート結果から「**現況の自然環境への配慮・調和を前提としながら、地形特性を活かし、市民の憩いの場所として快適に利用できる空間を目指す**」ということが分かってきました。

この事から、林東公園の今後の方向性について、以下の3項目について基本方針(案)を考えました。

3つの基本方針(案)

1. 動植物についての基本方針(案)

「生態系に配慮しつつ、剪定や間引き、残すべき樹木を定めて管理する」

- ・ 見通しが悪い原因となっている樹木や下草の管理を進めるとともに、多くの野鳥などが見られるこの自然環境を守り、次世代へと引き継いでいきます。

2. 池についての基本方針(案)

「自然環境に配慮しつつ、自然観察や水辺環境を活用した整備を行う」

- ・ 現況の水質を把握し、改善を図ると共に自然観察や水辺に触れ合う場として整備します。

3. 施設や維持管理についての基本方針(案)

「材質に配慮した施設整備を行い、継続して維持管理を行う」

- ・ 老朽化した施設を更新する際には、利用者が快適に利用できる配置を検討し、維持管理します。
- ・ 各施設の材質については、用途に応じて適切に選定します。

↑↑上記3つの基本方針(案)について、各班の意見↑↑

A班

- ・ 3つの基本方針はこれで良い。
- ・ 実際に公園を利用する「人」についての基本方針を入れた方が良い。

B班

- ・ 3つの基本方針はこれで良い。
- ・ 自然を残しながらも子供達に危険が及ばないようなバランスの取れた整備を目指すため、「安全・安心」についての基本方針を入れた方が良い。
- ・ 青葉公園との関連、区別化について、基本方針に入れた方が良い。

C班

- ・ 「生態系に配慮」とあるが、何もしないということに見えるため、もう少し具体的に示した方が良い。

D班

- ・ 利用する「人」が「安心」して「憩える」公園というのが前提であり、この内容についても基本方針に入れた方が良い。



基本方針（案）にそって求められる「機能や整備内容」



A班

- ・ 青葉公園にはない、水辺を活かした整備とし、差別化を図る。
- ・ 公園の上流側を「ネイチャーゾーン」、下流側を「コミュニティゾーン」として公園を区分する。
- ・ トイレの改修、駐車場の改修、入口付近のデッキ改修、橋の改修、屋根付き休憩施設とその周辺の整備、駐輪場の整備、下草刈り、道路側は見通しを良くするための樹木の剪定や間引き、野鳥観察施設、以上の整備は必要。
- ・ 入口の位置や形状、管理車両の通行、散策路の整備、柵の改修、公園中央部分の見通しを良くするための樹木の剪定や間引き、池周囲の木道、以上の整備は慎重に行う。
- ・ 今あるパーゴラ付近には、学習の機能を持たせた場所として、屋根付き休憩施設の整備が必要。
- ・ 公園内には、公園案内サインの他に樹名板などの施設が必要。

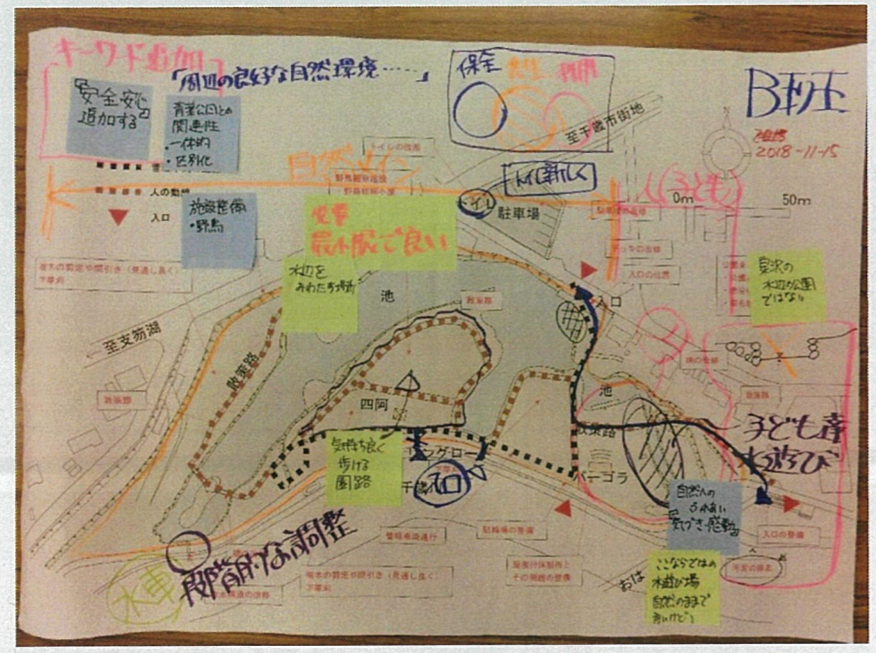


C班

- ・ 上流側を「自然ゾーン」、下流側を「利活用のゾーン」として公園を区分する。
- ・ 下流側の水辺付近は、親水までは求めないが下草をすっきりさせ、水辺に近づけるデッキ等を整備する。
- ・ 池の水質が悪いため、子ども達をジャブジャブ入って遊ばせるのは難しい。
- ・ 入口付近のデッキは、水面からの高さが2m位あるため危険であるため階段にする等の改修が必要。
- ・ 公園内の樹木を伐採した場合、その樹木を利用した丸太イスや公園内の施設として利用できないか。
- ・ 屋根付きの休憩所が必要。
- ・ おはよう橋と林東公園の行き来には、自転車の通行が多いサイクリングロードは極力利用したくない。サイクリングロードを通らずに、おはよう橋へ抜ける新たな動線が欲しい。
- ・ 既存のパーゴラ付近と下流側の出入口付近を結ぶ動線が必要。
- ・ 池の汚泥除去は、定期的に行うことが必要。
- ・ 維持管理していくため、民間や住民で「林東公園を守る会」を作ることには出来ないか。

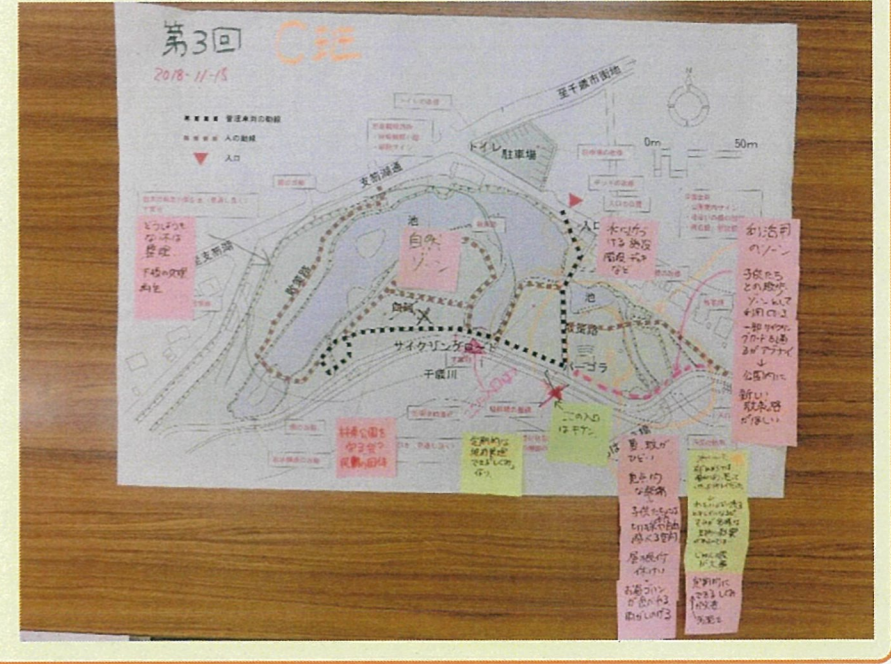
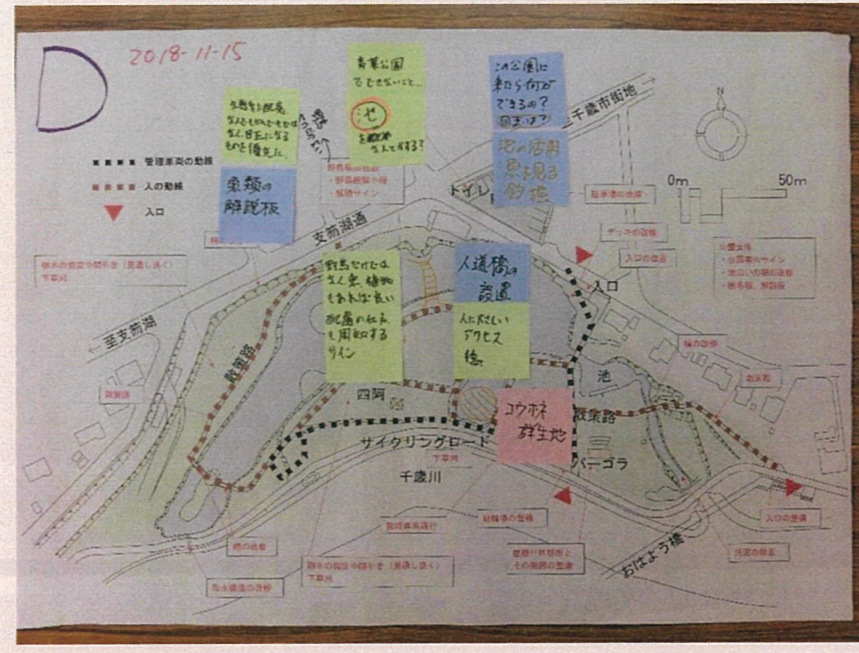
B班

- ・ 林東公園は、人と自然が触れ合える公園で良い。
- ・ 上流側はあまり整備を行わない「自然を残すゾーン」、下流側は「人が触れ合うゾーン」として公園を区分する。
- ・ 池の下流側は、汚泥の除去が必要。
- ・ 子どもが水にジャバジャバ入って行ける程度の整備をお願いしたい。
- ・ トイレの改修が必要。
- ・ サイクリングロードへの出入口をもう少し上流側へ移動する。
- ・ 千歳川からの取水は、水車を設置してはどうか。



D班

- ・ 提案された項目（平面図に書かれた赤字の項目）の整備はお願いしたい。
- ・ 駐車場から公園内へ直接入れる動線として「人道橋」を設置してはどうか。
- ・ 野鳥だけでなく樹木や魚の解説板も必要。
- ・ 池の活用として、釣堀として利用できないか。



当日をふりかえって…

今回のワークショップでは、今までのアンケートやワークショップで出た意見、要望から分かってきた「林東公園の今後の方向性」について話し合いを行いました。

基本方針（案）については、人が安心して憩える場所となるよう、基本方針の追加に関する意見や、より具体的な整備内容について意見や要望が挙げられました。

次回は、これらの意見を踏まえ、基本方針を決定します。

